

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	市民部	
関係部	建設部	-
	-	-

基本施策	I-4 共生のまちづくりを推進する
個別施策	① 市民協働の推進
個別施策の方向	様々な場面で、市民が自主的に地域の課題解決に取り組むため、活動拠点や機会の整備について支援し、市民活動の推進と市民協働のまちづくりを進める。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	149,646	人件費	29,267	事業コスト	178,913				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	1,340	一般財源	148,306
H28年度	決算	事業費	155,651	人件費	29,646	事業コスト	185,297				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	2,616	一般財源	153,035
H29年度	決算	事業費	155,630	人件費	24,523	事業コスト	180,153				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	3,319	一般財源	152,311

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について			
37) 市民協働 (H27年度)	20.1%	-	-
38) 区会・ボランティア等の地域活動 (H29年度)	-	33.7%	
※平成29年度市民意識調査から調査項目名を変更しているため、市民満足度の前回比はありません。			

平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
提言	策定されている市民協働ガイドラインを市民にも周知し、今以上に全庁的に事業推進を図りたい。	

取組概要	<p>市民協働ガイドラインに基づいた、アイラブつくばまちづくり補助金の交付や、SNSを活用した市民協働の広報活動を行い、市民と行政が協力する街づくりの推進を行った。</p> <p>また、市政運営の理解促進及び地域コミュニティの活性化並びに災害等に対し、安全で安心な地域づくりを目指し、区会への加入を推進した。</p> <p>さらに、市道の一定区間について、地域のボランティア団体が道路の清掃活動や簡易な除草作業を行い、環境美化に寄与している。ボランティア団体の清掃活動等に当たり、市は各団体に対して条件の合う備品を支給する等の支援援助を行った。</p> <p>公園については、参加団体による公園の清掃や簡易な施設の修繕等を通して、公園の環境美化や利用環境の改善に寄与した。参加団体には、活動規模に応じて消耗品を配布し、積極的な活動の推進を奨励している。</p>
成果	<p>アイラブつくばまちづくり補助金については、SNS等の広報による周知が図られ、年々申請団体も増加し（H27年度：21団体 H28年度：26団体 H29年度：30団体）、福祉、教育、環境など、多岐にわたる市民団体による自発的で公益的な活動への支援をすることができた。</p> <p>また、平成27年度から29年度までに設立された新規の区会は12区会となり（H27年度：5区会 H28年度：3区会 H29年度：4区会）、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。</p> <p>道路の美化活動を行う団体については、平成30年度に1団体が新規で加入している。ゴミ袋や清掃用具等の支給については、平成27年度46,692円、平成28年度53,505円、平成29年度59,419円と順調に推移している。</p> <p>公園の美化活動については、平成27年度から平成29年度までに3団体増え、38団体が参加している。また、消耗品の配布についても、平成27年度7,588円、平成28年38,880円、平成29年度48,944円と、順調に推移している。</p> <p>つくば市で賄えない美化活動を各団体に行ってもらうことで、道路及び公園の緑地に対する市民の愛護意識を高め、快適で美しい環境づくりを推進できた。</p>
今後の課題	<p>T X沿線開発における人口増加に伴い、区会加入率が低下傾向にあるので、継続して区会の未設置地域や既存区会への未加入世帯対し、区会設置及び区会加入を啓発していく必要がある。</p> <p>道路及び公園の美化活動については、参加団体の増加に伴い悩みが見られるほか、公園緑地においては、既存の参加団体の全体としての活動の小規模化が認められる。</p> <p>今後、アダプト・ア・ロード援助制度及びアダプト・ア・パーク援助制度等を積極的に活用し、参加団体の活性化を図る必要がある。</p>
改善目標	<p>区会加入に向けては、転入者ヘリーフレットやPRグッズの配布、歩道橋にて横断幕の設置、広報誌の設置などPR活動を更に推進していく。</p> <p>道路及び公園の美化活動については、参加団体の増加を図るため、広報活動を行う。また、市のホームページに年1回掲載すると共に、団体ごとにアダプトエリアへ看板を設置する。さらに、つくば市以外での援助制度を活用する。</p>

自己評価（所管部署評価）	
自己評価記述	<p>区会加入世帯数が、平成27年度から平成29年度において、約800世帯増加し、市民が自主的に地域の課題に取り組むための新たな活動拠点の整備を図ることが出来た。</p> <p>また、フェイスブック「市民活動のひろば」からの情報発信やアイラブまちづくり補助金の活用により、コミュニティの醸成や市民団体による自主的で公益的な取組への支援が出来ている。</p> <p>道路の美化活動に関して、既存の参加団体活動については、適切な成果と費用対効果が得られているが、新たな団体が参加しやすい環境を作ることが更なる活動の発展に繋がっていくと考える。</p> <p>また、公園の美化活動についても、活動は順調に機能しているが、新たな団体が参加しやすい環境を作ること、既存の参加団体の更なる活動の発展に寄与することのできる施策について、今後検討していく必要がある。</p> <p>今後も区会や各種団体との連携を図り、市民活動、そして市民協働のまちづくりの取組を推進していく。</p>